



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,301	18.1	△618	—	△235	—	△163	—
2021年3月期第2四半期	3,640	△48.9	△1,209	—	△985	—	△1,246	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △194百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △1,389百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△8.30	—
2021年3月期第2四半期	△74.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	18,397	1,710	7.7
2021年3月期	18,514	1,330	5.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 1,408百万円 2021年3月期 1,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	20,035,700株	2021年3月期	18,562,200株
2022年3月期2Q	6,275株	2021年3月期	72,975株
2022年3月期2Q	19,739,410株	2021年3月期2Q	16,694,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により発令されていた緊急事態宣言が新規感染者数の減少により解除され、経済活動が徐々に再開しつつありますが、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、連結売上高4,301百万円（前年同期比18.1%増）、営業損失618百万円（前年同期営業損失1,209百万円）、経常損失235百万円（前年同期経常損失985百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失163百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1,246百万円）となりました。

なお、「収益認識会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用するとともに、従来は営業外収益「その他」に計上していた販売委託契約に係る取引に付随する取引については、売上高に計上する方法に変更しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高が663百万円減少し、営業損失が10百万円減少しますが、経常損失と税金等調整前四半期純損失については変更ありません。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高3,654百万円（前期比6.9%増）、セグメント損失（営業損失）483百万円（前期セグメント損失820百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における日本の業績は、4～6月は、TVアニメ「呪術廻戦」とのコラボイベントが好調に推移したことに加え、緊急事態宣言の制限内容が前年4月に全国を対象に発令された1回目の緊急事態宣言と比べて緩和されたこと等の影響により前年同期に比べ売上高が増加し、セグメント利益についてもセグメント損失ではあるものの、大幅に改善いたしました。7～9月は、「ヒプノシスマイク」等のコラボイベントが好調で売上獲得に貢献したものの、新規感染者数が過去最高を記録することになった第5波が発生し4度目の緊急事態宣言が発令されたことが客足に大きく影響したことから、客数並びに売上は前期に比べ大幅に減少する結果となりました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高658百万円（前期比192.3%増）、セグメント損失（営業損失）55百万円（前期セグメント損失303百万円）となりました。

第2四半期連結累計期間における中国の業績は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため前年同期において臨時休業していた全ての店舗が営業を再開したことに加え、中国全体の感染者数が減少してきたことでレジャー消費等の活動が正常に戻りつつある経済環境が影響したことにより、前年同期に比べ売上高が増加し第1四半期（4月～6月）ではセグメント利益となりました。一方、中国では気温が高いときに入浴する習慣がないことから閑散期となる第2四半期（7月～9月）の業績が合算されたことで、累計ではセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少し18,397百万円となりました。これは主に、現金及び預金が213百万円増加した一方で、主に減価償却費により有形固定資産及び無形固定資産が310百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ496百万円減少し16,687百万円となりました。これは主に、未払金166百万円、前受金89百万円、及び短期借入金61百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ379百万円増加し1,710百万円となりました。これは主に、ファシリティ型新株予約権の行使により、資本金が207百万円及び資本剰余金が195百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、7.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月20日に公表いたしました2021年3月期決算短信において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。

現時点において、新規感染者数が一段と少なくなり、消費行動が戻りつつある状況ではありますが、再び感染拡大となる可能性もあり、終息時期の見通しは未だ立っておりません。従いまして、2022年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます、今後の市場動向や店舗営業の推移により、業績予想を合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,788,176	5,001,254
売掛金	248,327	195,649
未収入金	58,133	13,944
棚卸資産	94,496	91,643
その他	342,857	308,367
貸倒引当金	△53,875	—
流動資産合計	5,478,117	5,610,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,059,803	7,758,118
工具、器具及び備品（純額）	286,617	293,405
土地	1,403,989	1,403,989
建設仮勘定	563,565	574,972
有形固定資産合計	10,313,976	10,030,485
無形固定資産		
のれん	274,322	263,970
その他	66,989	50,799
無形固定資産合計	341,312	314,769
投資その他の資産		
投資有価証券	115,375	549,580
長期貸付金	367,138	377,109
繰延税金資産	7,394	3,899
敷金及び保証金	1,134,389	1,138,528
関係会社株式	632,974	301,167
その他	655,694	612,725
貸倒引当金	△589,994	△606,021
投資その他の資産合計	2,322,971	2,376,988
固定資産合計	12,978,260	12,722,243
繰延資産		
開業費	58,343	64,237
繰延資産合計	58,343	64,237
資産合計	18,514,720	18,397,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,522	238,348
短期借入金	1,767,297	1,706,009
1年内返済予定の長期借入金	2,099,219	2,099,738
未払金	685,946	518,995
未払法人税等	103,398	70,244
前受金	1,439,870	1,350,675
賞与引当金	38,627	46,445
その他	958,545	910,141
流動負債合計	7,392,427	6,940,598
固定負債		
長期借入金	7,670,307	7,669,788
退職給付に係る負債	144,471	141,293
資産除去債務	1,430,352	1,438,684
繰延税金負債	464,775	430,083
その他	81,392	66,614
固定負債合計	9,791,299	9,746,464
負債合計	17,183,727	16,687,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,683,193	3,890,460
資本剰余金	3,271,825	3,467,516
利益剰余金	△5,806,105	△5,850,098
自己株式	△36,305	△3,121
株主資本合計	1,112,606	1,504,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,006	△32,999
為替換算調整勘定	△61,770	△62,993
その他の包括利益累計額合計	△89,777	△95,992
新株予約権	308,164	301,513
非支配株主持分	—	—
純資産合計	1,330,993	1,710,276
負債純資産合計	18,514,720	18,397,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	3,640,837	4,301,167
売上原価	4,296,425	4,367,650
売上総損失(△)	△655,587	△66,482
販売費及び一般管理費	553,722	552,119
営業損失(△)	△1,209,309	△618,602
営業外収益		
受取利息	11,141	3,787
受取家賃	10,839	11,262
為替差益	51,810	88,539
助成金収入	234,788	290,937
デリバティブ評価益	22,699	28,745
協賛金収入	14,272	34,237
原油スワップ差益	—	19,920
その他	15,578	22,913
営業外収益合計	361,131	500,344
営業外費用		
支払利息	58,745	53,436
支払手数料	38,645	15,080
持分法による投資損失	14,715	42,440
シンジケートローン手数料	7,183	6,000
原油スワップ差損	8,036	—
その他	10,101	13
営業外費用合計	137,426	116,971
経常損失(△)	△985,604	△235,230
特別利益		
新株予約権戻入益	6,134	18,987
資産除去債務戻入益	5,404	—
事業譲渡益	137,036	—
保険解約返戻金	44,048	—
持分変動利益	—	21,401
特別利益合計	192,624	40,388
特別損失		
固定資産除却損	623	25,379
関係会社株式売却損	7,629	—
減損損失	449,816	—
貸倒引当金繰入額	68,468	—
その他	67	—
特別損失合計	526,605	25,379
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,319,585	△220,220
法人税、住民税及び事業税	28,415	22,055
法人税等調整額	69,470	△35,422
法人税等合計	97,886	△13,366
四半期純損失(△)	△1,417,472	△206,854
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△171,393	△43,096
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,246,078	△163,758

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,417,472	△206,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,547	△4,992
為替換算調整勘定	36,767	△1,485
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,716	19,147
その他の包括利益合計	27,503	12,669
四半期包括利益	△1,389,968	△194,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,231,920	△152,593
非支配株主に係る四半期包括利益	△158,048	△41,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,319,585	△220,220
減価償却費	558,453	466,832
のれん償却額	10,351	10,351
減損損失	449,816	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,071	△3,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	74,776	9,938
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,484	7,535
受取利息及び受取配当金	△13,331	△4,507
新株予約権戻入益	△6,134	△18,987
支払利息及び社債利息	59,540	53,436
為替差損益(△は益)	△51,810	△98,478
持分法による投資損益(△は益)	14,715	42,440
事業譲渡損益(△は益)	△137,036	—
助成金収入	△234,788	△290,937
保険解約返戻金	△44,048	—
売上債権の増減額(△は増加)	△125,595	△55,394
棚卸資産の増減額(△は増加)	△25,924	2,969
繰延資産の増減額(△は増加)	△11,781	△4,191
未収消費税等の増減額(△は増加)	15,786	△6,648
未払消費税等の増減額(△は減少)	116,751	10,622
仕入債務の増減額(△は減少)	12,882	△63,142
建設協力金の賃料相殺	45,243	41,244
未払金の増減額(△は減少)	△36,646	△132,577
その他	109,665	8,967
小計	△536,145	△243,924
利息及び配当金の受取額	2,179	3,946
利息の支払額	△58,250	△53,678
助成金の受取額	234,788	290,937
法人税等の支払額	△47,198	△50,984
法人税等の還付額	53,267	5,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	△351,359	△48,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,899	△132,336
資産除去債務の履行による支出	—	△39,731
差入保証金の差入による支出	△1,138	△1,108
差入保証金の回収による収入	4,324	37,106
貸付金の回収による収入	222	227
関係会社株式の取得による支出	△345,432	—
事業譲渡による収入	15,260	—
保険積立金の解約による収入	105,862	—
その他	△114	△18,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,914	△154,073

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	727,562	△61,287
社債の償還による支出	△31,500	—
長期借入金の返済による支出	△489,158	—
割賦債務の返済による支出	△48,367	△24,440
株式の発行による収入	—	403,903
非支配株主からの払込みによる収入	31,040	43,010
非支配株主への払戻による支出	△45,628	—
配当金の支払額 (△)	△109	△44
新株予約権の発行による収入	6,200	—
自己株式の処分による収入	97,724	19,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,763	380,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,369	17,078
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△426,140	195,818
現金及び現金同等物の期首残高	4,989,750	4,788,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,563,609	4,983,994

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、販売委託契約に係る取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。また、従来は営業外収益「その他」に計上していた販売委託契約に付随する取引については、売上高に計上する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高が663,894千円減少し、売上原価が674,797千円減少し、営業損失が10,903千円減少しますが、経常損失と税金等調整前四半期純損失については変更ありません。また、前連結会計年度の期首の純資産に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、「時価算定会計基準」等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ207,266千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が3,890,460千円、資本準備金が1,237,060千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,415,711	225,126	3,640,837	—	3,640,837
外部顧客への売上高	3,415,711	225,126	3,640,837	—	3,640,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,295	—	1,295	△1,295	—
計	3,417,007	225,126	3,642,133	△1,295	3,640,837
セグメント損失(△)	△820,467	△303,249	△1,123,716	△85,593	△1,209,309

(注) 1 セグメント損失の調整額△85,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る減損損失)

中国セグメントにおいて、建物、工具器具備品、ソフトウェア及び建設仮勘定の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては449,816千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,643,157	658,010	4,301,167	—	4,301,167
外部顧客への売上高	3,643,157	658,010	4,301,167	—	4,301,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,849	—	10,849	△10,849	—
計	3,654,007	658,010	4,312,017	△10,849	4,301,167
セグメント損失(△)	△483,667	△55,209	△538,876	△79,726	△618,602

(注) 1 セグメント損失の調整額△79,726千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

なお、前第2四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の損失の算定方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。